

ANTENNA

あんなコト&こんなコト

【受賞・表彰、催事活動情報】

ANTENNA 03

スターフライヤー社との産学連携による機上講義を実施

商学部 観光産業学科

観光産業学科の学生22人が、7月4日(土)、スターフライヤーの旅客機をチャーターして行われた機上講義に臨みました。

機上講義は、日本で唯一のチャーターフライト機上での授業で、今年で11回目を迎えます。

学生たちは、これに先立ち、客室乗務員や整備担当など、航空会社の各部署のプロフェッショナルを招いた講義で、航空業界の理解を深めてきました。

機上講義当日は、早朝の北九州空港を飛び立った旅客機が九州上空を飛行中、現役客室乗務員によるサービス業務に関する講義を受けました。



「九産大でしか体験できない講義を受けて、参加者全員、夢に向けての気持ちが強くなりました!」と石隈さん

サービスの動作の一つひとつに込められた意味を、身をもって体験した貴重な時間



スターフライヤーの機体をバックに並び、参加した学生たち

参加した観光産業学科2年の石隈愛奈さん(長崎女子高校)は、「サービスは簡単そうに見えますが、お客様へ気配りしながらのサービスの難しさを実感しました」と、体験することの貴重さを話しました。同空港に着陸後は、飛行場や部品庫、運航管理室などを見学しました。

実習後、スターフライヤー社長の松石禎己氏との懇談会が開催され、松石社長は、学生の質問にも気さくに答えました。

石隈さんは、「今回の体験を通して、観光の仕事への夢が膨らみました」と、充実した表情で話しました。

ANTENNA 04

学生たちが「アビスパ福岡」のポスター写真を撮影

芸術学部 写真映像学科



ライティングや立ち位置など、細かい部分まで、気を付けてシャッターチャンスを狙います



アビスパ福岡の選手たちと、撮影に関わった学生たち

写真映像学科を中心とした学生チーム11人が、7月30日(木)、本学内「スタジオ101」で、アビスパの選手7人のポスター写真を撮影しました。学生による「アビスパ福岡」のポスター写真の撮影は、今年で3回目。今回は、従来の「カッコいい強さ」に加え「女性にも親しみやすい柔らかさ」をテーマに2種類の撮影を行いました。学生たちは、テーマをいかに表現するかについて、プロのデザイナーと検討。特に、今年初めてのテーマとなる女性の目線から見た「柔らかさ」については、ゼロから話し合いを重ねました。また、事前に、選手と身長に近い学生

が代役となり立ち位置を確認するなど、スムーズな撮影のための工夫も。撮影当日は、選手たちと会話しながら、和やかな雰囲気作りを心掛け、順調に撮影を終えることができました。

3年間、このプロジェクトに参加した写真映像学科研究生の木村萌恵さん(仰星学園高校)は、「初めてこのプロジェクトに参加し、自分の携わったポスターが街中に貼られていたときの喜びは忘れられません。今後は学内外問わずさまざまなプロジェクトへ関心を広げ、より多くの経験を積みみたいと思います」と話しました。

ANTENNA 01

産学連携プロジェクト「farm3.0」が企画した桃風味のリキュールが完成

経営学部 産業経営学科



福岡アイランドシティの夏祭りで行われた無料試飲会の様子



手に取りやすいシンプルなデザイン



左から、南さん、松江さん、弘さん。「今年は、芋というコンセプトにこだわり、それを実現できたので良かったと思います」

産業経営学科事業開発コースの学生を中心とする産学連携プロジェクト「farm3.0」(ファーム3.0)が企画した「桃風味 芋で作ったリキュール」、250本が完成しました。

「farm3.0」は、平成24年から、学生たちで栽培したサツマイモを使った焼酎ベースのお酒を作っています。今年は原点である芋にこだわり、桃の香りをほんのりと生かしながら、味や口当たりに芋の風味を残した飲みやすいお酒に仕上げました。芸術学部デザイン学科の学生によるボトルラベルも、桃をイメージさせるピンクをあえて強調しすぎない、すっきりとした配色にしました。

福岡アイランドシティ(福岡市東区香椎照葉)で、8月1日(土)に開催された夏祭りでの無料試飲会では、一般の方々からも、「非常に飲みやすい」と好評でした。

産業経営学科4年の松江亮祐さん(白石高校)は、「食品という枠にとらわれず、いろいろなものを作りたい」。同学科4年の南健太さん(久留米商業高校)は「今後は、新たな商品開発を手掛けてほしい」と後輩への期待を語りました。同学科3年の弘宏二郎さん(川内高校)は「調味料など、新しい商品のプランも描いています。学生の間にたくさんの方に挑戦したいと思います」と抱負を話しました。

ANTENNA 02

2年目を迎えた八女福岡の燈籠人形背景幕プロジェクト

芸術学部 美術学科



「意義深いプロジェクトなので、今後引き継ぐ後輩たちも全力で取り組んでほしいと思います」と楠本さん



全体の色味を確認しながら、何度も塗り重ねて色を調整しました

美術学科日本画コースの5人の学生が、八女福岡の燈籠人形背景幕を作りました。国指定重要無形民俗文化財である八女福岡の燈籠人形の背景幕を、年1〜2枚のペースで新たに描くこのプロジェクト。2年目の今年は、演目の第一幕に使用される「厳島神社全景」を手掛けました。

学生たちが、今年のテーマに掲げたのは「構図」と「色」でした。

まず、今年3月に厳島神社に詣で、撮ってきた何枚もの写真を元にスケッチを重ねました。その後、日本画集を参考に、全体の構図を完成させました。また、昨年の反省を踏まえ、

背景幕は、9月21日(月・祝)〜23日(水・祝)に八女市の福岡八幡宮で行われた放生会公演でお披露目され、観客から大きな拍手を受けました。学生リーダーの美術学科3年の楠本遥菜さん(大宰府高校)は、「昨年の経験を生かし、効率良く制作できたと思います。多くの方に見ていただく文化財に携わる、貴重な経験ができました」と笑顔で語りました。

ANTENNA 08 商学部 岩崎教授が「めんたいワイド」の月曜コメンターに



FBS福岡放送「めんたいワイド」出演中の岩崎教授(右)。出演は、毎週月曜日15時48分～17時53分



商学部第一部商学科の岩崎達也教授が、6月29日(月)から毎週月曜日、FBS福岡放送の情報番組「めんたいワイド」に月曜コメンターとして出演しています。これまでの広告代理店やテレビ局での多彩な経験をもとに、どんな内容でもコメントできると期待されている岩崎教授。ブランド論など難しいテーマも、学問的な理論ではなく、番組で取り上げる地域の野菜生産などの身近な話題を素材に、誰にでも分かる言葉で伝えていきたいと意気込みを語ります。「テレビは訴求力のあるメディアです。私がコメントすることで、九産大や学問に興味を持ってくれる人が増えることを期待しています」と岩崎教授は笑顔で語りました。

ANTENNA 05 中国の浙江越秀外国语学院と交流協定を締結 国際文化学部



浙江越秀外国语学院(中国/紹興市) 現在浙江省にある唯一の独立外国語を専門とする高等教育機関。「応用型、国際化、高レベル」を目標にした外国語教育に特色があり、ビジネス教育で高い評価を受けている。中国で2番目に日本語学科の定員が多く、日本語教育にも力を入れており、1981年創立。学生数約1万5000人。専任教員670人。外国人教師109人。

国際文化学部は、4月1日(水)、中国浙江省浙江越秀外国语学院東方語言学院と新たに学部間交流協定を締結しました。国際文化学部は、平成24年の海外研修で、浙江越秀外国语学院の日本語専攻学生と交流。同学院の副学長、国際交流センター所長を中心とする訪問団が昨年来日し、国際文化学部を表彰訪問するなど、交流の実績を重ね、今回の交流協定締結となりました。国際文化学部では、グローバル化に対応する人材育成を目標に、短期研修団の相互派遣、受け入れ、留学生編入学試験の指定校としての認定などを実施する予定です。

ANTENNA 09 DSA 日本空間デザイン賞2015 協会特別賞(復興支援賞)受賞 芸術学部 デザイン学科 栗田 融教授

デザイン学科の栗田融教授の「ひた點やな場」が、「DSA 日本空間デザイン賞2015 協会特別賞(復興支援賞)」を受賞しました。受賞作品は、日田市の河川で鮎料理や伝統漁法が楽しめる仮設店舗です。2012年の九州北部豪雨で被災した日田市で、昨年、河川利用の社会実験として行われました。作品は、地元のマタケを切り出し組んだテントを川沿いに並置した飲食スペースで、川風や水音により涼感の得られる空間です。テントは、増水時に短時間で移動できるようにすることと地元の青年組織が作業することを条件に、素人でも制作・設置・撤去が簡単にできるようなデザインされました。「今回のプロジェクトは、私や学生と共に、地元の方々や協力企業が力を合わせて作り上げたもの。(復興支援賞)受賞で、地元の方々にも大変喜んでいただけたのが何よりうれしいですね」と、栗田教授は受賞の喜びを語りました。



CONGRATULATIONS!

「限られた時間の中でも、対話や実験を重ねて作り上げた作品です。学生の皆さんも、こうした濃密な時間を体験してほしいですね」と語る栗田教授

栗田教授の受賞作品「ひた點やな場」

ANTENNA 06 柳川市と連携協定を締結

九産大は、柳川市と、観光振興を通じて「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」を達成するための連携協定を締結しました。この協定は、活力ある個性豊かな観光まちづくり、地域発展および教育・研究の向上などに寄与することを目的とするものです。九産大は、平成20年から、商学部が「柳川サテライト大学」を開講したり、芸術学部学生が「壁づくりプロジェクト」による景観の向上を目指したりと、さまざまなプロジェクトを通して、地域社会づくりの連携を深めてきました。「柳川サテライト大学」では、「韓国向け旅行商品の企画」をはじめ、「空き店舗の活用」「観光コースの評価と提案」「商店街賑わいづくりプロジェクト」などの活動実績を残しています。今後九産大では、他の学部にも連携を拡大し、柳川市の観光資源を活用したまちづくりや、観光振興に関するプロジェクトを通じて教育・人材育成などを推進します。



左から、成松宏副市長、金子健次市長、山本隆男学長、千相哲商学部長

ANTENNA 10 マルコ・ポーロ国際賞芸術大使に 芸術学部 美術学科 佐藤 佳代准教授



マルコ・ポーロ国際賞芸術大使の概要

CONGRATULATIONS!



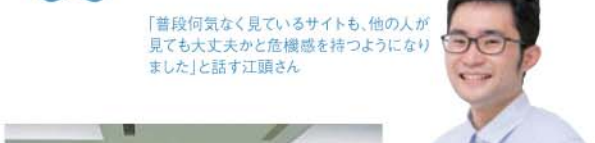
佐藤准教授は、「今後も現代アートとしての織表現を追求したい」と、抱負を語りました

美術学科の佐藤佳代准教授が、「マルコ・ポーロ国際賞芸術大使」に選ばれました。佐藤准教授は、平成25年9月から1年間にわたりイタリアのフィレンツェに平成25年度の九産大国外研究員として滞在。フィレンツェの伝統的な織工房を訪ね、技法等を研究することにも、制作活動を行いました。作品は、現地の市庁舎での個展をはじめ、多くの企画展に出品し、高い評価を受けました。こうした活動から、イタリア国内で活躍する外国人アーティストから選ばれる同大使に選出、授賞式が9月にベネチアで行われました。今後は、芸術大使として、イタリアでの作品発表を継続していきます。佐藤准教授は「私の作品は、日本では工芸に分類されますが、イタリアでは『現代アート』として評価されました。価値は、他者が決めるもの。学生の皆さんも、自分で枠を創ることなく、自分自身の殻を打ち破って創作に励んでください」と学生の皆さんにエールを送りました。



昨年フィレンツェで開いた個展にて。文化部長、市長、学芸員と

ANTENNA 07 情報科学部の学生が「県警サイバーパトロールモニター」に 情報科学部



「普段何気なく見ているサイトも、他の人が見ても大丈夫かと危機感を持つようになりました」と話す江頭さん

情報科学部の学生がつくる「K S U Cyber Patrolers」が、7月17日(金)、福岡県警察本部からインターネット上の違法・有害情報を監視するボランティア「県警サイバーパトロールモニター」を委嘱されました。「県警サイバーパトロールモニター」は、サイバー空間の浄化と安全安心な利用の促進のため、違法薬物の販売広告やフィッシングサイトなどのインターネット上の違法・有害情報を監視する活動です。違法・有害情報を発見した場合は、インターネット・ホットラインセンターに通報します。委嘱式後には、通報の仕方などについての研修会に参加しました。代表の江頭健太さん(情報科学科4年・致遠館高校)は、「学生の皆さんも、ちょっとでも怪しいと思ったら、信頼できる人に相談してほしい」と呼び掛けていました。



委嘱の様子。委嘱状とサイバーパトロールモニター徽章が交付されました



【受賞・表彰、催事活動情報】



2016年4月 中央会館学生食堂が新規オープン予定



明るい空間の壁には絵画が掛けられ、アートな雰囲気(完成イメージ)

長年九産大生に親しまれてきた中央会館学生食堂が、来年4月のリニューアルオープンに向けて改装中です。新しい食堂のコンセプトは「芸術のある食堂」。大学美術館に隣接し、芸術学部を持つ九産大ならではの特色ある食堂を目指しています。

オープン後は、芸術作品を展示し、音楽が流れる癒やしの空間となります。また、国産の食材にこだわり、地産地消を意識した新メニューも開発中です。

学内で公募した新しい名称も11月にはお披露目予定。

キャンパスライフをより豊かに快適にしてくれる新しい食堂にご期待ください。



九州インカレで男女ともに連覇! 空手道部

九産大空手道部は、7月12日(日)に行われた第65回九州地区大学体育大会(九州インカレ)の団体組手で、男子女子ともに優勝。見事2連覇を達成しました。

今年2月から強化練習や遠征を重ねてきた空手道部。主将の鏝坂智弘さん(経済学部経済学科4年・小倉工業高校)は「一人ひとりが自覚を持って、練習を重ねてきた成果だと思っています。互いに信頼し合っているからこそ、最高のチームワークで、団体戦で結果を出せたと思います」。

沖志織さん(経営学部国際経営学科4年・鹿児島城西高校)は、「チームとして同じ目標のもと、大きな舞台上で全力を尽くしたい」と抱負を述べました。



主将の鏝坂さん(右)と沖さん(左)



見事2連覇を果たした空手道部の皆さん



第56回香椎祭 テーマは「Evolution～さらなる一歩～」

香椎祭開催日:10月31日(土)～11月3日(火・祝)



「皆さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら準備に励んでいます」と齋藤さん



人気のガールズバンド「Silent Siren」

〈東区三大学合同スタンプラリー〉

参加大学	九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学
スタンプ押印場所・期間	九州産業大学[香椎祭](11月1日(日)～3日(火・祝)) 福岡工業大学[立花祭](11月2日(月)・3日(火・祝)) 福岡女子大学[かすみ祭](10月31日(土)・11月1日(日))

今年の香椎祭のテーマは、「Evolution～さらなる一歩～」です。

今年は、新企画「東区三大学合同スタンプラリー」を実施します。期間内に九州産業大学、福岡工業大学、福岡女子大学のスタンプを一つずつ集めると素敵な景品をプレゼント!

ステージでは、昨年に引き続き学内のサークルに加え、ガールズバンド史上、デビュー後最短で日本武道館でのワンマンライブを開催した「Silent Siren」が登場。その他、毎年人気のプロレス研究部のパフォーマンスや多様な模擬店など、バラエティー豊かな企画が盛りだくさんです。

大学祭常任中央実行委員長の齋藤直哉さん(経済学部経済学科4年・広島工業大学高校)は、「毎年来たくなるくらい、面白い香椎祭にしようと、委員全員で頑張っています。皆さん、ぜひ来場して楽しんでください」と呼びかけました。

九産大の皆さんからの情報をお待ちしています!

「+K」は九産大の「今」を伝える広報誌です。九産大総合企画部では皆さんのさまざまな活動や取り組みの情報を募集しています。右記アドレスまで、お気軽にご連絡ください!

✉ pub10@ip.kyusan-u.ac.jp